

中期経営計画評価表（22年度実績）

I 組織の概要

平成23年4月1日現在

1. 団体の基礎情報											
団体名	財団法人うつのみや文化創造財団										
所在地	宇都宮市明保野町7番66号			設立年月	平成21年4月						
市所管課	教育委員会 文化課			代表者	理事長 臼井 佳子						
ホームページアドレス	http://www.bunkakaikan.com/										
基本財産（資本金）	110,000千円	主な出資者			出資額	出資割合					
市出資額	110,000千円	—			—	—					
市出資割合	100.0%	—			—	—					
設立目的等	幅広い文化芸術事業を展開するとともに、市民の多様な文化活動を支援することにより、地域文化の振興と魅力ある市民文化の創造に寄与することを設立目的とする。										
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の文化振興事業 ・宇都宮市文化会館、宇都宮美術館の管理運営事業 ・その目的を達成するために必要な事業（プレイガイド事業など） 										
2. 団体の組織・人員情報											
役職員数	役員数	理事	常勤 (正規)	1	1	0	嘱託・ 臨時等	10	0	計	11
	職員数	監事		0	0	0		2	0		2
		職員数		35 (1)	2 (1)	0		12 (1)	0		47 (2)
		計		35	2	0		23	0		合計
常勤役員の平均年齢（歳）	62.0	常勤役員の平均年収（千円）	—	情報公開制度の有無	○						
常勤職員の平均年齢（歳）	50.8	常勤職員の平均年収（千円）	7,193	個人情報保護体制の有無	○						
3. 財務状況											
貸借対照表から	項目	金額（千円）			備考						
		21年度決算	22年度決算	23年度予算							
	総資産	805,301	815,242	810,058							
	負債	384,422	377,661	377,661	うち損失補償等を行っている額（千円）		0				
	（うち市からの借入金残高）	0	0	0							
	純資産	420,879	437,581	432,397							
（うち利益剰余金）	310,930	327,733	322,397								
※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。											
損益計算書から	項目	金額（千円）			備考						
		21年度決算	22年度決算	23年度予算							
	総収入	1,005,746	1,011,490	923,852							
	（うち市補助金等）	10,029	44,287	89,148							
	（うち市委託料等）	837,852	764,500	690,988							
	経常損益	45,858	14,105	△ 5,184							
減価償却前当期損益	0	0	0								
当期損益	45,858	14,105	△ 5,184	税の減免額（千円）		0					
※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。											

4. 経営改革に関する平成19年度～21年度までの主な取組

宇都宮市文化会館・宇都宮美術館の経営改革に関する取組

①平成21年度両財団の合併で事務局，役員等を1本化

②サービス向上への取組

- 施設利用等の受付時間の延長，早朝等における時間外利用の弾力的な運用，ホールナビゲーターを導入した利用者へのサポート，美術館開館時間の夏季延長，HPに施設の空き情報の掲載等

③教育普及事業の充実

- 各種文化団体との協働事業の充実，若手演奏家への発表の場の提供，文化活動をしている団体への支援等

- アウトリーチ事業等の充実，講座「トビダス美術館」，「アート・トーク」，「会館探検ツアー」など

④統合による新規事業として実施の「中学校おでかけコンサート」，「ミュージアムコンサート」など

⑤館外での広報（営業）活動の強化，企画展観覧料割引券の発行

⑥文化会館自主事業の収支率状況（収支率：入場料収入／総支出額）

- 19年度収支率 111%（1位／全国1,092館）

- 20年度収支率 90%（7位／全国1,111館）※鑑賞型普及事業を年間30事業以上事業費5000万円以上の85館中7位

※データ出所：（社）全国公立文化施設協議会 全国調査集計から

- 21年度収支率 78.4%（13位／47館）※事業数40以上事業費4000万以上の47館

⑦補助金・助成金の積極的な活用

●H20「芸術拠点形成事業」採択

【小中学生による学校所蔵品再発見プロジェクト『Re+Collections』実施】

●H21「栃木県地域文化芸術振興プラン推進事業」採択【ファミリーコンサート実施】

●H21「財団法人花王芸術・科学財団助成金」採択【企画展『杉浦緋水の眼と手』実施】

1. 事業の充実・強化

No	取組項目	目標	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
			基準値	実績値				
1	公益目的事業比率の向上	26年度末 80%	58% (※)	62%				
2	事業評価システムの導入・運用	23年度 導入	未導入	検討				
3	市事業の移管	市との役割分担を明確にした上で、随時事業移管	検討	2事業移管， 1事業は移管に向けた検討				
4	教育普及事業の実施	26年度 26事業	25事業	30事業				
5	文化活動支援事業の実施	26年度 2事業	1事業	8事業				
6	地域連携事業の実施	26年度 2事業	1事業	2事業				
7	統合による新たな事業展開	26年度 2事業	1事業	1事業				

2. 経営の強化・効率化

No	取組項目	目標	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
			基準値	実績値				
8	市からの補助金・負担金の適正化	職員の適正配置等を踏まえた補助金の適正化	10,029千円	44,287千円				
9	市からの委託料（指定管理料）の適正化	効率的な事業執行による委託料の適正化	837,851千円	764,500千円				
10	受付システムの導入	23年度 ICT化の一部実施	手作業	準備				
11	特定外収入の増収	26年度決算額 9,400千円	9,373千円	11,416千円				

※ 公益認定に向け，新たな会計基準を採用し，事業区分を見直したことによるもの

3. 組織・人員体制の強化								
No	取組項目	目標	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
			基準値	実績値				
12	常勤役職員数の適正化 (派遣等を除く。)	23年度新公益法人制度に 適応した体制の検討	37人	検討 (37人)				
13	民間理事の登用	23年新公益法人制度に 適応した体制の確立	10人/15人	準備				
14	職員の資質の向上	全職員研修の実施	全職員研 修の実施	継続実施				
4. 情報提供の充実等								
No	取組項目	目標	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
			基準値	実績値				
15	ホームページの充実	市民ニーズに対応したHPの運 用・新制度に対応した適正な情報 の提供	事業・組織・ 財務情報の提 供	検討				
16	情報公開の推進	適切な情報の公開	情報公開要綱 に基づき情報 公開を実施	実施				
5. 新公益法人制度への対応								
No	取組項目	目標	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
			基準値	実績値				
17	公益法人への移行	24年度 公益財団法人移行	特例民法 法人	検討				

IV 総括

団体評価	<p>【評価】 文化会館と美術館が持っているスケールメリットを活かした教育普及事業や文化活動の育成・支援の強化及び舞台芸術と美術の連携による事業の総合化による事業の総合化により、さらなる文化振興の強化をしてきた。 しかし、経済の低迷や、異常気象、大震災など外部環境の変化が経営に影響を与えましたが、「経費の縮減」、「業務の効率向上」等に取り組み利用サービスに支障がないように努めた。</p> <p>【今後の課題】 今後、新公益法人への移行や職員の高齢化、大量定年退職の時代を迎えることから、中期計画を実現するための職員・組織体制の充実、能力の開発、人材の育成・確保に努める必要がある。</p>
所管課評価	<p>【評価】 財団統合を機に、それぞれの財団が持つ質の高い事業をするための人脈や調整能力、舞台事業の専門技術、美術に係る専門知識の活動などといった専門性やノウハウを活かし、事業の充実強化を図ることができた。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後更に公益財団法人として、組織マネジメントや内部統治の強化を図る必要がある。 ・職員の高齢化、年齢構成の偏り是正する適切な組織・定員を確立する必要がある。